

1. 件名

株式会社ロス・アンジェルスと赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」
覚書調印式を行います

2. 内容（目的、日時、場所、特徴等）

赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」という「寄付つき商品」※を通じた社会貢献活動が県内「第1号」として八千代市で始動します。第1号店には市内飲食店のロス・アンジェルス様にご賛同いただき、下記のとおり千葉県共同募金会八千代市支会（会長：服部市長）と覚書を締結する覚書調印式を実施いたします。

記**(1) 覚書調印式の目的**

市内の企業と募金百貨店プロジェクトを実施することを広く周知することを目的に、覚書調印式を実施する。

(2) 覚書調印式の日時

令和7年9月12日（金）午後2時30分から午後3時30分まで

(3) 覚書調印式の場所

八千代市役所 旧館3階 市長公室

※『寄付つき商品』とは、企業等が提供する商品等を、購入者が購入・利用するとともに、一定の割合で企業等が売り上げの一部を共同募金会に寄付するものです。

3. 過去・現在及び今後の展開

赤い羽根「募金百貨店プロジェクト」を県内で初めて八千代市で実施いたします。「じぶんの町を良くするしくみ」である赤い羽根共同募金について広く周知し、地域のつながりを応援する本プロジェクトを市内でさらに展開できるよう取り組む予定です。

4. 添付資料

赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」の概要資料

5. 主催・共催者名

千葉県共同募金会八千代市支会

6. 問い合わせ先（住所、電話、担当課等）

千葉県共同募金会八千代市支会（八千代市社会福祉協議会内）

住所：八千代市大和田新田312-5

電話：047-483-3021（内線：2820・2821）

「募金百貨店プロジェクト」 について

千葉県共同募金会



赤い羽根共同募金 について

赤い羽根共同募金運動は活動開始から70年以上続く歴史ある募金活動です。

赤い羽根共同募金の活動



共同募金は戦後間もない昭和22（1947）年に、市民が主体の民間運動として始まりました。
当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に資金支援をする活動としての機能を果たしてきました。
そして70年を超えた今、社会が大きく変化する中で、
「さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体・グループを支援するしくみ」として、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の福祉活動を推進しています。

民 間

地 域

福 祉



千葉県共同募金会 について

千葉県の赤い羽根共同募金は、社会福祉法にもとづき設置された千葉県共同募金会が実施しています。

千葉県共同募金会

名 称：社会福祉法人 千葉県共同募金会

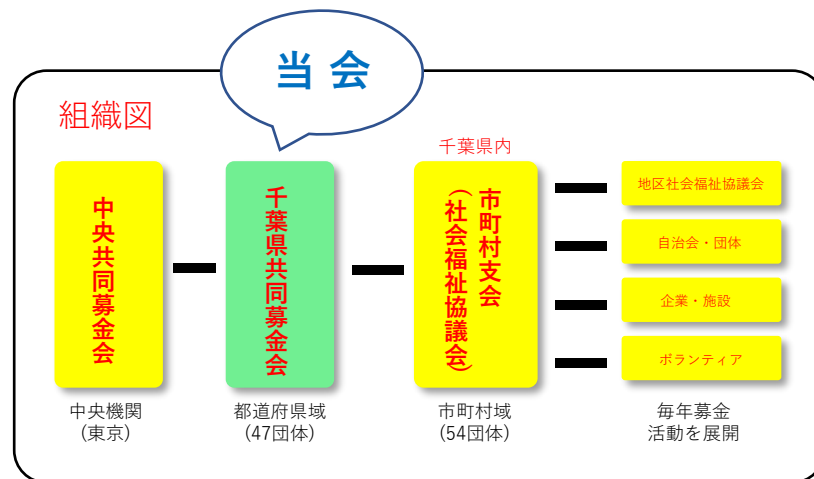
所 在 地：千葉市中央区千葉港 4 - 5 県社会福祉センター 4 F

設 立：昭和27年5月24日

事業内容：共同募金運動

代 表 者：熊谷 俊行

H P : <https://akaihane-chiba.jp/>



千葉県の共同募金運動の推進

共同募金運動は毎年10月1日から全国いっせいに行われる「統一運動」ですが、その運営は各都道府県に1つずつ設けられた「都道府県共同募金会」によって行われます。共同募金の特徴は、皆さんから寄せられた募金が、募金をした県や市町村の福祉の推進など「**じぶん達の町を良くするために使われる**」ことです。

千葉県共同募金会では、県内の社会福祉協議会をはじめとする、福祉団体、行政、企業、ボランティアの皆さまにご協力をいただき、地域の福祉課題を解決する人たちの支援を目的として、「千葉県(特に地域)を良くする」共同募金運動を実施しています。



共同募金は福祉のための募金です

福



食べ物がある、着るものがあるしあわせ
物質的な豊かさ・しあわせ

+

祉



気づかい、安心、安らぎ
心や気持ちなど目に見えないしあわせ

福祉

豊かに安心して暮らせること

共同募金の役割

福祉のための民間財源を一元化し、公平に助成する第三者機関

「制度のはざま」をすくい、必要な事業へ助成する



共同募金のつかいみち

共同募金は身近な地域の福祉活動に役立てられています

公的支援の狭間にある緊急的な支援のために

新型コロナウイルス感染症等で緊急的な支援を必要としている子どもたち、DV被害者、自分の居場所のない方、生活困窮者等へ、行政の制度だけではカバーしきれない活動について、迅速な助成支援を行っています。

子どもたちや青少年の健全育成のために

子育て中の世帯を支援する活動や、子どもたちが地域で暮らすさまざまな世代の人たちとふれあう世代間交流事業のほか、児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援活動に役立てられています。

高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる地域づくりに

一人暮らしの高齢者のために、ボランティアが訪問し、栄養の整った食事を届けたり、地域から孤立をなくすことを目的とした活動等に役立てられています。また、障がいのある人たちの社会参加支援、就労活動に必要な機器の購入助成にも活用されます。

地域で活躍する福祉ボランティアの育成や研修に

学校で行われる思いやりの心を育てる福祉教育や、地域で福祉の担い手を育てるボランティア研修会等に役立てられています。

被災者とボランティアを支える活動のために

大規模な自然災害が起こった際に被災者とボランティアをつなぐ「災害ボランティアセンター」の設置・運営支援や、被災した福祉施設の復旧支援等に役立てられます。



赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

《募金百貨店プロジェクト》

- ◆ 企業等にとって、本業にメリットのある寄付つき商品・企画を集約し、赤い羽根共同募金が募金の百貨店になろうというプロジェクト
- ◆ 平成24年4月から山口県共同募金会で始まり、全国各地に拡大
中央共同募金会が名称・ロゴマークを商標登録し展開している

顧客に負担がなく、**企業**の販売促進と社会貢献に繋がり、
それが**地域の福祉**課題解決のための財源になるという、
3者Win Win Win（三方良し）の関係を目指しています



赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」



合同会社サザンカ サザンカケアサービス（群馬県高崎市）

本プロジェクトに賛同していただけるケアマネージャーから仲介していただく、

①福祉用具のレンタル1件につき、毎月のレンタル料の10%

②特定福祉用具の販売1件につき、100円

を赤い羽根共同募金を通じて、地域の障がいを持つ子どもたちを支援するため活動に寄付する。

赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

RUBY FEATHER PROJECT

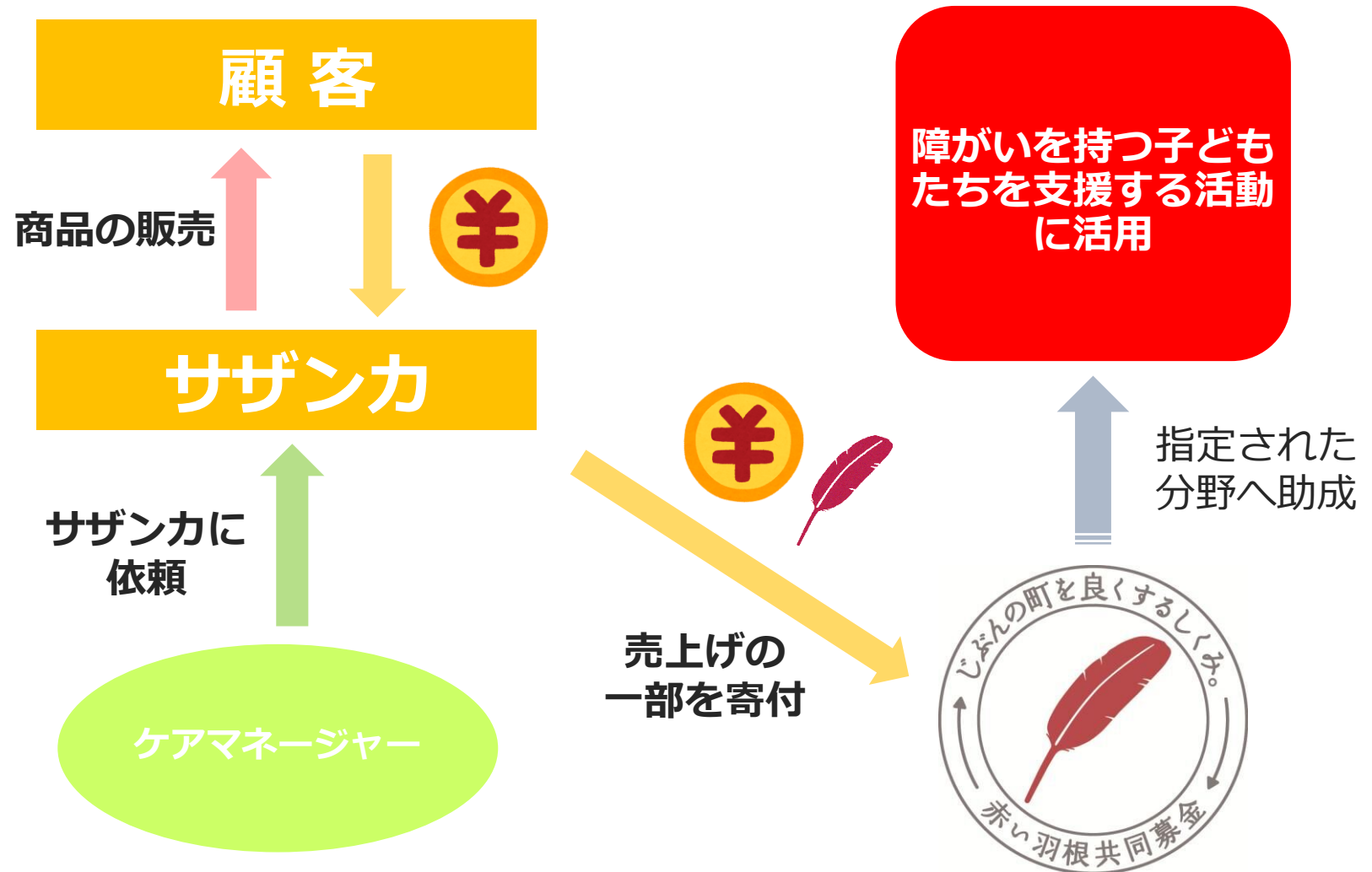


株式会社 浅井商店（愛知県名古屋市）

社会貢献ジュエリーの販売額の10%を寄付する。

→ 4ヶ月で約2,000万円の売上から200万円を寄付。

赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」



赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

«それぞれから見た募金百貨店プロジェクト»

「募金百貨店プロジェクト」はとても身近な社会貢献です

◆ 顧客Side

生活必需品を買うことで、その一部が寄付となり、
じぶんの町を良くするための活動に活かされる

◆ サザンカSide

企業の本業を通して、地域のために社会貢献ができる
従業員が会社の取り組む社会貢献を身近に感じる

◆ ケアマネSide

本業を通して、地域のために社会貢献ができる

◆ 共同募金会Side

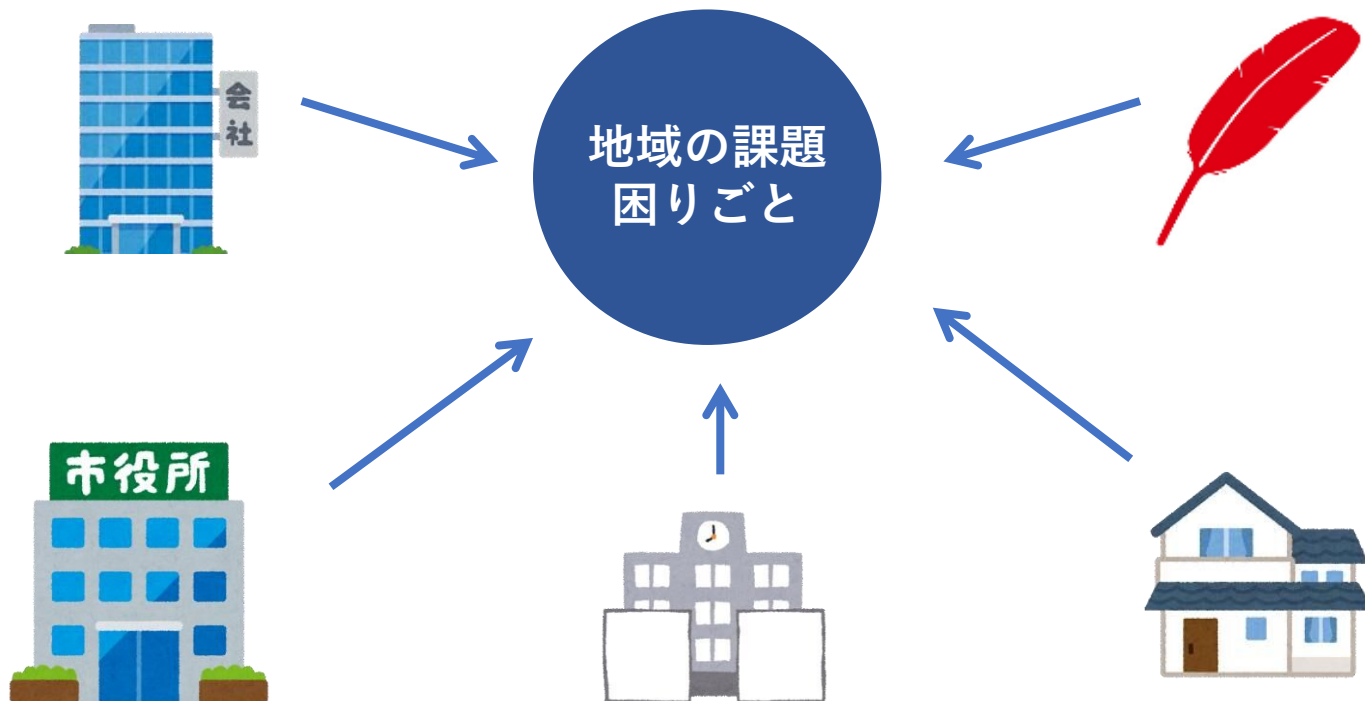
地域で福祉活動を頑張る団体等を助成金で支援



赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

身近な地域課題を掘り起こし、自分ごととして取り組む機会となります

共同募金会と企業・個人事業主が協働することで、企業の社会貢献活動を通じて、地域の課題や困りごとについて、社員さんをはじめ顧客や地域の住民に広く知ってもらう機会が増加します。地域福祉への関心を、自分ごととして捉えてもらうきっかけになります。



赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

プロジェクト展開ツール

最初にお渡しします。



プロジェクト参加
企業ステッカー
(直径20 cm)

じぶんの町を
良くするしくみ、
実施中！



のぼり旗
180×60
※棒・土台は
ご用意ください

企画により使用します。



商品提示ステッカー
(1枚直径35mm)
(1シート20枚)

赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

プロジェクト参加までの流れ

- ◆ 「募金百貨店プロジェクト」登録申請書 ご提出
- ◆ 百貨店登録商品、展開方法の検討（お打合せに伺います）
- ◆ 覚書締結・納税証明書ご提出
 - ※商品展開・PR・HP掲載など
- ◆ 報告書様式 ご提出（最低年1回）

※当会から前年度の活動報告をいたします



みなさまのご理解とご協力のほど
よろしくお願いいたします。